

授業科目名	授業形態	単位数	担当教員名
子ども学ゼミ C	単位認定	1	宇賀神 一

【ディプロマポリシーとの関連】

<技能・活動的領域(技能・表現)>

6. 子ども学ゼミや実習指導によって習得した技能を保育・教育の現場に用いることができる。

【授業のテーマ及び到達目標】

テーマ: 日本文化のなかの子ども・学校・教育 I

到達目標:

①日本の文化—文学作品・音楽・アニメ・マンガなど—のなかでの子どもや学校、教育の描かれ方を知り、説明することができる。

②「学ぶ」とはなにか、「教育」とはなにかについて記述することができる。

【授業の概要】

前半を講義、後半を演習とする。

講義では、日本文化に関する基礎的な知識を学び、そこに描かれた子どもや学校、教育に注目する感覚と、それを分析する視点や方法、技術を養う。演習では、学生それぞれの興味・関心を大切にしながら、各々の視点から日本文化とそこに登場する子どもの姿や学校の様子、教育のあり方などを紹介し合う。

【全体の授業計画・内容】

1. オリエンテーション

事前学修課題: シラバス熟読のうえ、現時点での子どもや学校、教育についての認識を整理する。【0.5 時間】

事後学修課題: 配布された資料を各自でまとめ、理解する。【0.5 時間】

2. ゼミ選択/自己紹介

事前学修課題: 自己紹介の準備を行う。【0.5 時間】

事後学修課題: ゼミの進め方について復習する。【0.5 時間】

3. 文学作品のなかの子ども・学校① —灰谷健次郎作品を手がかりに—

事前学修課題: 日頃から積極的にさまざまな日本文化に接し、興味をもっておく。【0.5 時間】

事後学修課題: 本時の学修内容のふりかえりを行い、学びや教育についての理解を深める。【0.5 時間】

4. 文学作品のなかの子ども・学校② —村上春樹作品を手がかりに—

事前学修課題: 日頃から積極的にさまざまな日本文化に接し、興味をもっておく。【0.5 時間】

事後学修課題: 本時の学修内容のふりかえりを行い、学びや教育についての理解を深める。【0.5 時間】

5. 音楽のなかの子ども・学校

事前学修課題: 日頃から積極的にさまざまな日本文化に接し、興味をもっておく。【0.5 時間】

事後学修課題: 本時の学修内容のふりかえりを行い、学びや教育についての理解を深める。【0.5 時間】

6. アニメのなかの子ども・学校① —ジブリ作品を手がかりに—

事前学修課題: 日頃から積極的にさまざまな日本文化に接し、興味をもっておく。【0.5 時間】

事後学修課題: 本時の学修内容のふりかえりを行い、学びや教育についての理解を深める。【0.5 時間】

7. アニメのなかの子ども・学校② —新海誠作品を手がかりに—

事前学修課題: 日頃から積極的にさまざまな日本文化に接し、興味をもっておく。【0.5 時間】

事後学修課題: 本時の学修内容のふりかえりを行い、学びや教育についての理解を深める。【0.5 時間】

<p>8. マンガのなかの子ども・学校</p> <p>事前学修課題: 日頃から積極的にさまざまな日本文化に接し、興味をもっておく。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題: 本時の学修内容のふりかえりを行い、学びや教育についての理解を深める。【0.5 時間】</p>
<p>9. 発表準備</p> <p>事前学修課題: 前回までの授業を踏まえ、自身の発表内容を考える。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題: 発表の準備を行う。【0.5 時間】</p>
<p>10. 発表① —A グループ—</p> <p>事前学修課題: 発表準備を行う。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題: 発表の反省点をふりかえり、今後の課題を明確にしておく。【0.5 時間】</p>
<p>11. 発表② —B グループ—</p> <p>事前学修課題: 前時の内容をふりかえるとともに、発表準備を進める。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題: 発表の反省点をふりかえり、今後の課題を明確にしておく。【0.5 時間】</p>
<p>12. 発表③ —C グループ—</p> <p>事前学修課題: 前時の内容をふりかえるとともに、発表準備を進める。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題: 発表の反省点をふりかえり、今後の課題を明確にしておく。【0.5 時間】</p>
<p>13. 発表④ —D グループ—</p> <p>事前学修課題: 前時の内容をふりかえるとともに、発表準備を進める。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題: 発表の反省点をふりかえり、今後の課題を明確にしておく。【0.5 時間】</p>
<p>14. 発表⑤ —E グループ—</p> <p>事前学修課題: 前時の内容をふりかえるとともに、発表準備を進める。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題: 発表の反省点をふりかえり、今後の課題を明確にしておく。【0.5 時間】</p>
<p>15. まとめ</p> <p>事前学修課題: 自身およびゼミ生の発表内容についてふりかえる。【0.5 時間】</p> <p>事後学修課題: 前期の学修内容を総括する。【0.5 時間】</p>
<p>【学習のあり方】</p> <p>多様な日本文化に触れ、それを眺める多角的な視点を獲得する。</p>
<p>【成績評価】</p> <p>授業態度(50%)、発表内容(50%)</p>
<p>【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】</p> <p>提出物と発表内容に対する添削を行う。</p>
<p>【テキスト】</p> <p>適宜、資料を配布する。</p>
<p>【参考文献】</p> <p>授業中に指示する。</p>
<p>【実務経験の有無】</p>